



冬期研修「たくろう所」(米沢市)を視察

去る2月3日(土)～5日(月)の3日間の日程で、生活クラブやまがた生協(旧:米沢生協)・たくろう所の視察に行ってきました。この生活クラブやまがた生協は、震災直後、遠く山形から車を走らせ足繁く被災地でのボランティア活動に取り組みました。生協都市生活・コミュニティセンターとはそれ以来のおつき合いです。昨年の記録的な雪害の際には、コミュニティセンターから雪かきボランティアの研修に伺いました。そして今回は、高齢者福祉の日常的な助け合いを学ぶためにお邪魔しました。

今回の視察メンバーは、当センターの訪問介護事業で管理者をしている佐々木京子さん、サービス提供責任者の廣瀬久美子さん、そして事務局スタッフの私を加え、計3名です。(事務局スタッフ:小松高志)

● こんな介護もあるんだ

米沢に着いた日は、この暖冬で雪も無く、少しがっかりしましたが、2日目には夜更けからの雪で迎り一面雪景色。たくろう所訪問では信じられないくらいにゆっくりと時間が流れていました。Hさんという女性の利用者さんから広告を折って作ったゴミ入れをたくさんいただきました。カメラをむけると恥ずかしそうに眼鏡をかけてとびきりの笑顔をしてくださいました。「結いのき」では床暖の暖かさ、大きな窓、広い中庭、そしてヘルパーさん達の暖かい方言での援助、全てが輝いて見えました、こんな介護もあるんだとびっくりしました。私にもできるのでしょうか!?いえ!ぜひやりたいと心から思われた研修でした。素晴らしい体験をさせていただき本当にありがとうございました。

(あ・し・す・と:廣瀬久美子)



● 利用者の生きがいを引き出す

自分達が、今やりたいこと、そして高齢になった自分達がしてもらいたいことを研修してきました。民家で普通に生活すること自体が、いわば最高のリハビリではないでしょうか。病院では無表情だった認知症の方が普通の生活をする事で、少しずつおしゃべりをしたり、すてきな笑顔をとるもどされたというケースもあるそうです。実際、利用者の中には「親戚の家に泊まりに来ている」「友だちの家に遊びに来ている」と思っている方もいらっしゃるようです。「たくろう所」とグループホーム「結いの木」のスタッフには感動を覚えます。利用者を優しく抱き寄せ、手を握り、利用者を笑わせ、幸せな気分させています。利用者調理を手伝ってもらったり、一緒にお茶を飲んでお話したり、後片付けも利用者に手伝ってもらっています。スタッフと利用者が「私、お世話する人」「あなた、お世話される人」という関係でなく、「持ちつ持たれつの家族」のような感じです。最高の介護とは、利用者の生きがいを引き出すことだと感じました。普通の暮らしと、居心地のいい人間関係がカギだと思います。住み慣れた生活の臭いがする町に、通うことも泊まることも気軽にできる小規模で家庭的な「宅老所」をたくさんつくりたいと夢がひろがりました。(あしすと武庫之荘:佐々木京子)

■ 生活クラブやまがた生協(旧:米沢生協)のたくろう所とは……

たくろう所は民家、何の変哲もない二階建ての一軒家です。そこには、スタッフに見守られた高齢者の穏やかな暮らしがあります。基本的な仕組みは、通所(自宅⇔たくろう所)については、月曜日～土曜日の午前9時～午後17時のお預かりで、利用料金は1日:3千500円。ただし、月のうち10日間を超える場合は3万5千円のみ。一方、宿泊(たくろう所で暮らす)については、一泊～数日泊の短期間か、もしくは長期間の滞在。長期滞在の場合は月額で10万5千円だそうです。このたくろう所は介護保険事業ではない為、法制度の規制や約束事にしばられる事無く、利用者やご家族の要望や意向にそって臨機応変に対応できる魅力があります。自宅から施設への

入所のはざ間で困っておられた寝たきりの高齢者を預かったこともあるそうです。まさに「困った時の駆け込み寺」として組合員からの信頼は厚く、医療・福祉関係者からの相談・問合せも後を絶たないそうです。

このたくろう所での経験と実績は、やがてグループホーム「結いのき」(認知症高齢者の共同生活介護住居)開所の布石となりました。グループホームは介護保険事業であり2004年にスタートしました。(こちらはたくろう所とは違い、800坪の敷地をもつ広大な施設です。)ここでは認知症の高齢者が最大で27名入居でき、自立と尊厳を妨げない程度の介護を受けながら生活をされています。

ご紹介 ハートリンク介護タクシー

NPO法人都市生活コミュニティセンターの会員で生協都市生活元職員でもある垣谷正己さんが身体障がい者や高齢者を送迎する「介護タクシー」を明石市二見町で開業されました。さて「介護タクシー」とは……。

～ いざという時の介護マメ知識 ～

●介護タクシーってなに？

- 1 車イスに座ったまま、乗ったり降りたりできるタクシーです。
- 2 ベットに寝ている人を車イスに移乗したり、更衣を手伝ったり、タクシーに乗るまでの色々なお世話もします。
- 3 車に乗って移動するだけでなく、外出先での様々なお世話もします。
例えば・・・車イスを押ししたり、通院や買い物の付き添

- いをしたり、食事やトイレの手助けや、さらには温泉に入るお手伝いなどもします。
- 4 利用する人は主に高齢者の方や障がいのある方で、とくに車イスを利用している人が多いです。
※杖やシルバーカーを使っている方なども利用できます。
 - 5 病院での診察やリハビリに通うために使われる場合が多いですが、**買い物や外食、温泉や旅行、お墓参りや結婚式**などに使う方もいます。

★モデルプランや利用者の声など詳しくは、

ハートリンク介護タクシーのホームページ

<http://www.heartlink.jp> をご覧ください！

★垣谷さんが作成した明石市内の車いす専用トイレの場所を示す一覧表「明石市車椅子専用トイレ場所案内」もこのホームページに掲載しています。

お問い合わせは

☎ 078(941)4692



モデルプラン 料金 3,440円 (往復9.2km) 往路のみ・復路のみは半額になります



料理研修

あしすと武庫之荘で毎月1回行っている研修の報告です



7回目 茶事懐石風

- 前菜: 千草焼き、サーモンかぶら巻き、菜の花ごま和え、黒豆松葉
- 主菜: かぶら蒸し(タラ)
- 副菜: 里芋柚、なます
- 吸い物: 生麩2種、餅麩
- 漬物: 大根即席漬 ○黒米ご飯

茶事「初釜」にちなみ 懐石風。

男性利用者さんのつぶやき
「これにお酒がつくと、いい感じやね」

4月にはまた、茶事でいこうと思っています。



あしすと武庫之荘 佐々木京子

2006年度☆介護保険事業報告

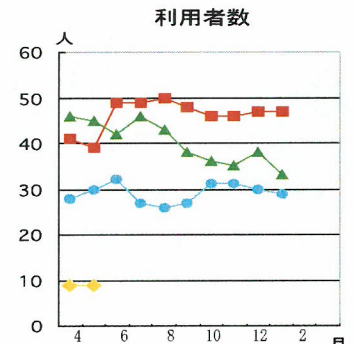
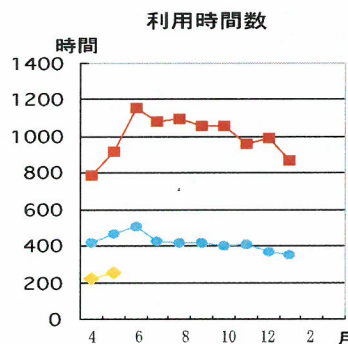
★あ・し・す・と (垂水)

★あしすと武庫之荘 (尼崎)

●現在、2つの事業所を拠点に都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業を行っています。(あしすと西宮は6/1をもって、あしすと武庫之荘と統合しました)

●武庫之荘では居宅介護支援事業(ケアプラン)、障害福祉サービス事業も行っています。

- 垂水
- 武庫之荘
- 西宮
- 居宅介護支援



インフォメーション

◆ にしのみやNPO等市民活動団体文化祭

～食・住・育・環境を考える～

3月10日(土)10:00～17:00

会場:西宮市市民交流センター

主催:西宮市・2006年すぴりっつ実行委員会

♥ミュージックセラピーグループ・ハーモニーによる「ミュージックセラピー」は11:30より、2階メインステージで開催されます。

お問い合わせは

NPO法人都市生活コミュニティセンター ☎ 0798(36)6679